

第3回総合計画審議会（R7.8.28）での主な意見と対応案

項目	委員からの意見	対応案
改定のポイント （シン・ファミリー フレンドリー）	・ビジョンの中核的概念として、シン・ファミリーフレンドリーで本当にいいのか、議論が必要。対象が県民になっているが、広島に住んでいない人も関わりを持ってもらう必要があるのではないか。	・「ファミリー」の定義を見直し、シン・ファミリーフレンドリーの表現を修正（p16）
	・ファミリーの定義が古いのではないか。ビジョンとして語るにはリスクが高いのではないか。	《ファミリーの定義》 【変更前】 子供がいる共働き世帯
	・共働きで子供がいる家庭を「ファミリー」というのは、古い観念に基づくと取られてしまうリスクが非常に高いのではないか。多様な形も含めたものとすべきではないか。	【変更後】 <u>子供がいる家庭、高齢者がいる家庭、障害者がいる家庭、ひとり親家庭など 様々な家族</u>
	・メッセージを尖らせることには賛成だが、家族の定義に問題がある。	《シン・ファミリーフレンドリーの表現》
	・単身世帯が多い中でも、人とのつながりをつくることを目指す方が適切なのではないか。	【変更前】 家族と一緒に暮らしやすい社会は、単身世帯やひとり親世帯など、誰もが暮らしやすい
	・尖らせることとバランスを取ることは難しい。新しい時代を作っていくという要素が見えるほうが良い。一番の課題がどこと捉え何をしていくか明確に掲げることは賛成。	【変更後】 <u>子供がいる家庭、高齢者がいる家庭、障害者がいる家庭、ひとり親家庭など、様々な家族が暮らしやすい社会を実現することは、誰にとっても暮らしやすい社会につながります。ひいては、本県を訪れる人にとっても、本県に関わる人にとっても、魅力的に感じてもらえる「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。</u>
	・若い人に「家族」ベースだと言っても響かない。全体的に総花的になっているのもっとメリハリをつけたほうが良い。	
	・家族みんなが暮らしやすいというのは良い方向性と思ったが、定義として標準の家族というのはよくない。新しいという要素を入れるべき。	

項目	委員からのご意見	対応案
改定のポイント (シン・ファミリーフレンドリー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政としてはエッジの効いたフレーズだと評価する。賛否が分かれるのは仕方ないし、むしろ良い。ただし丁寧な説明が必要。「広島ファミリーフレンドリー」などがよいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な社会経済情勢の変化がある中でも、県民一人一人が夢や希望に挑戦し、仕事と暮らしの充実を感じられる社会を実現していくためのコンセプトとして、誰もが暮らしやすい社会を目指すこととし、家族が暮らしやすいまちは誰もが暮らしやすい、という「シン・ファミリーフレンドリー」を、今後5年間の方向性として設定したもの。</li> <li>・この方向性を踏まえ、17の施策領域全体で、様々な社会経済情勢の変化に対応していく。</li> <li>・今後、ビジョン改定後の県民への説明の際には、そのコンセプトを丁寧に説明していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い家族という説明の仕方ができればよい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会経済情勢の変化は全て大事なことだと思うが、それを解決するために施策の方向性を1つのコンセプトにしたことで、何をするかわかりにくくなったのではないか。</li> </ul>	
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点項目に偏りがあるのではないか。輪の中の右側のほう（魅力づくりや地域づくり）が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「若者に選ばれる広島県」では、若者目線の地域の魅力や暮らしやすさの向上など、若者が楽しみながら暮らし、働くことができる広島県の実現に取り組むこととしている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強固な経済基盤の確立の中で、中小企業にとっての支援が見えにくい。また、「女性応援」を掲げているが、女性の創業支援というのは入らないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点項目では大局的な視点での説明に留めているが、施策領域「産業イノベーション」において、中小企業をはじめとした県内企業への支援や、創業の裾野を広げる取組の一環として、女性をはじめとする多様な人材の創業支援を位置付けている。(p94)</li> </ul>

項目	委員からのご意見	対応案
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5つの重点項目は良いと思うが、その背後にはやはり安心が必要なので、医療などについても強いメッセージを出してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重点項目を「強固な社会経済基盤の確立」に修正し、医療等に係る1文を追記（p29）</li> </ul> <p>【追記】</p> <p>全ての県民が、質の高い医療等のサービスを受け、地域で暮らし続けることができるとともに、誰もが安全・安心を実感できる広島県の実現に取り組めます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然災害対応が待ったなしの状況の中、避難所支援などが重点項目に入っていないが、どう考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重点項目を「強固な社会経済基盤の確立」に修正し、防災・減災対策に係る内容を追記（p29）</li> </ul> <p>【追記】</p> <p>自然災害が激甚化・頻発化する中、ハード・ソフト両面での防災・減災対策を着実に進め、県民の命と暮らし、経済活動を支えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な取組については、施策領域「防災・減災」の取組の方向に、避難所で安心して過ごせる生活環境の整備等について記載（p71）</li> </ul>
社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然災害の中に、暑さ、気候変動も含むべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「(4)自然災害の激甚化・頻発化や顕在化したリスクへの対応」に、気温や海水温の長期的な上昇について追記（p12）</li> </ul>

項目	委員からのご意見	対応案
施策領域	・ 中山間地域に離島が入っていることを表すべきではないか。	・ 用語解説に「中山間地域」を追加し、中山間地域には「離島振興法」、「山村振興法」、「半島振興法」及び「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」のいずれかにより指定等をされた地域であることを明記（p112）
	・ 施策領域「健康」には、がんの予防について入れてほしい。	・ 施策領域「健康」の取組の方向に、「がんなどの疾病の予防」を新たに記載（p61）
	・ 「福祉・介護人材の確保・育成・定着及び生産性の向上」は、「医療・福祉・介護」という形にしてほしい。	・ 医療分野の人材確保については、「高度医療機能と地域の医療体制の確保」及び「災害や新興感染症等の発生時における体制の強化」の取組の方向に記載（p64）
	・ 集落対策として、空き家対策を盛り込むべきではないか。	・ 今後、無住化が懸念される集落に対し、集落対策全般について、施策領域「中山間地域」の取組の方向に記載（具体的な対策については分野別計画での記載を検討）（p105）